



## INDEX

会長挨拶、学長挨拶	P2
岩手大学 第3期中期目標・中期計画について	P3
同窓会連合の活動状況	P4~5
各同窓会の活動状況	P6~7
岩手大学の情報	P8

## 岩手大学同窓会連合会長挨拶

会長 渡邊 喬



同窓生のみなさまにおかれましては、同窓会連合の活動にご理解いただき誠にありがとうございます。

さて、平成28年8月6日に、岩手大学と同窓会連合共催による「卒業生・修了生と学長との懇談会（第8回）」を岩手県一関市で開催いたしました。当日は夏祭りで賑わう中、70名の同窓生にご参加いただき、この4月から実施された学部改組の話題を中心に活発な懇談会となりました。この懇談会は今後も継続して参りますので、

積極的な参加をお願いしたいと思います。

また、この懇談会でも話題となりましたが、卒業生の高橋英輝さんがリオデジャネイロオリンピックの男子20km競歩に出場いたしました。残念な結果ではありましたが、岩手大学初の夏季オリンピック出場ということで、同じ卒業生として大変誇りに思っております。

今後も同窓会連合は、岩手大学の発展に寄与するため活動を進めて参りますので、今後も活動へのご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

## 岩手大学長挨拶

学長 岩渕 明



平成28年4月から岩手大学は、6年間の第三期中期目標・中期計画期間のスタートを迎えるとともに、学部の再編と教職大学院の設置を行いました。今後は「グローバル」「震災復興」「アイデンティティ」をキーワードに地域を先導する大学を目指して参ります。

さて、私にとって平成28年は、卒業生の活躍が印象的な年となりました。北米二大犬ゾリレースを日本人女性として初めて完走し、植村直己冒険賞を受賞した本多有香さん、NTTドコモの代表取締役社長に就任した吉澤和弘さん、参議院議員に当選された進藤金日子さん、リオデジャネイロオリンピックの男子20km競歩に出場した

高橋英輝さんなど挙げれば切りがありませんが、大学の誇りとして大変うれしく思っております。

このように卒業生の活躍は、在学生、教職員への刺激となり、アイデンティティの涵養に繋がっていきます。卒業生のみなさまには今後も様々な方面でのご活躍を期待しております。

また、本学では在学生の活動支援を積極的に行っていきたいとの思いから「岩手大学イーハトーヴ基金」を設立しております。ぜひ、卒業生・修了生のみなさまには基金へのご協力と、大学に対して様々な形でご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 岩手大学 第3期中期目標・中期計画について

岩手大学では、平成28年4月から第3期中期目標・中期計画期間がスタートし、6年間で中期目標を達成するため、様々な中期計画を掲げています。詳細については岩手大学ホームページに掲載しております。

〈 <http://www.iwate-u.ac.jp/hyouka/hyoukajoho.shtml> 〉

### 国立大学法人岩手大学 第3期(平成28.4～平成34.3)中期目標・中期計画の概要

平成23.3.11東日本大震災以降の  
岩手大学の使命(ミッション)とは…

被災県にある国立大学として  
地域の復興推進・支援の役割を果たすこと  
「岩手の“大地”と“ひと”と共に」

#### 第3期の岩手大学は

- 1) グローバル(グローバル×ローカル)な視点も含めた  
教育・研究・社会貢献等の活動を展開
  - 2) 東日本大震災による被災を受けた地域として復興推進活動を継続
  - 3) 大学構成員が岩手大学という一つの組織体としてのアイデンティティを確立
- 上記の方向性の下で「**地域を先導する**」大学を目指す

#### ●中期計画の主な内容(キーワード)

##### 【教育】

GPA制度、ナンバリング、  
キャリア形成促進、  
多面的総合的入試

##### 【研究】

重点研究領域の選定、  
URA体制、  
研究環境の向上

##### 【社会連携】

リカレント教育の拡充、  
COC事業の継続実施と発展的継承

##### 【グローバル化】

地域課題型国際研修の企画、  
グローバル人材育成ネットワーク

##### 【業務運営等】

テニユア・トラック、女性管理職登用促進、  
大学院課程の再編等

#### ★戦略性が高く意欲的な計画★

##### <計画29>

「いわて協創人材」に求められる  
教育のグローバル化の推進

「IHATOVOグローバルコース」の開設、  
「Global Mileage制度」の導入など

##### <計画44>

三陸復興事業及び地域連携事業を  
長期的に継承する体制の整備

三陸復興・地域創生推進機構の設置など

平成27年度事業報告について

1. 理事会の開催

- 第13回：平成27年5月27日（水）  
 議題1. 平成26年度事業報告（案）について  
 2. 平成26年度決算（案）について  
 3. 平成27年度事業計画（案）について  
 4. 平成27年度予算（案）について  
 5. 次期役員等の選出について  
 6. 卒業生・修了生と学長との懇談会（第8回）について など
- 第14回：平成28年2月29日（月）  
 議題1. 同窓会連合運営費の見直しについて  
 2. 同窓会連合会則の一部改正について  
 3. 卒業生・修了生と学長との懇談会（第9回）の開催について など

2. 運営委員会の開催

計2回開催（平成27年5月18日（月）、平成28年1月15日（金））

3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第8回）」の開催

大学と共に主催し、懇談会及び懇親交流会を開催した。  
 【内容】大学側から大学の現状と取組状況の紹介、意見交換 など  
 日時：平成27年7月25日（土） 15時～  
 開催場所：ホテル福島グリーンパレス（福島市）  
 参加者：88名

4. 会報の発行

平成28年2月 第7号発行  
 （掲載内容）：岩手大学の震災復興への取組状況、平成26年度事業報告、卒業生・修了生と学長との懇談会（第8回）の報告、各同窓会の情報、大学の情報 など

5. 在学生への支援

大学で実施している「岩手大学イーハトーヴ基金」への支援を行った。（金銭補助）

6. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を行った。

【主な放送内容】  
 震災復興の取組、運動部の活躍、大学行事の紹介 など  
 【放送日時等】  
 平成27年10月6日（火）～平成27年12月29日（火）  
 毎週火曜日／18：55～（3分間） 計13回放送  
 （同日再放送 24：38～（3分間））  
 平成28年1月30日（土） 特別版（1時間）放送

7. 東日本大震災に係る義援金の募集

東日本大震災で被災した岩手大学生を支援するため、義援金の募集を継続して行った。

※集められた義援金については、大学で行っている「東北地方太平洋沖地震岩手大学被災学生支援募金」に寄付され、在学生の修学支援資金として使用されている。

8. 卒業式・修了式への支援

卒業式・修了式（平成28年3月23日（水））に祝い花を贈った。

平成28年度事業計画と実施状況について

1. 理事会の開催

- 第15回：平成28年6月14日（火）  
 議題1. 平成27年度事業報告（案）について  
 2. 平成27年度決算（案）について  
 3. 平成28年度事業計画（案）について  
 4. 平成28年度予算（案）について など

2. 運営委員会の開催

計3回開催（平成28年5月12日（木）、10月31日（月）、11月28日（月））

3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第9回）」の開催

大学と共に主催し、懇談会及び懇親交流会を開催した。  
 【内容】大学側から大学の現状と取組状況の紹介、意見交換 など  
 日時：平成28年8月6日（土） 15時～  
 開催場所：ペリーノホテル関（岩手県一関市）  
 参加者：70名

4. 会報の発行

会報第8号を発行する。

5. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を引き続き実施する。

6. 岩手大学イーハトーヴ基金への協力呼びかけ

在学生を支援する基金として「岩手大学イーハトーヴ基金」が設立されたことから、ホームページ等で協力呼びかけを行う。

7. 卒業式・修了式への支援

卒業式・修了式に祝い花を贈る。

《平成27年度 岩手大学同窓会連合 決算》

【収入の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	2,000,000	2,000,000	0	4同窓会×500,000円
前年度の繰越金	2,911,272	2,911,272	0	
一時金戻し入れ	65,000	65,000	0	懇談会会費おつり用一時金
その他収入	544	626	82	利息
計	4,976,816	4,976,898	82	

【支出の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	残 額	備考
事業費	1,841,000	1,390,991	450,009	①卒業生・修了生と学長との懇談会への協力 492,031（旅費、八ガ千代、会場費等補助） ②会報の発行 417,960（印刷費、発送補助費） ③在学生への支援 200,000（学生支援寄附金） ④ガンダイニングの協賛費 162,000 ⑤卒業式・修了式への祝い花 54,000 ⑥懇談会会費おつり用一時金 65,000
会長活動経費	100,000	0	100,000	
会議費	6,000	3,318	2,682	（理事会用お茶代）
事務費	23,000	4,644	18,356	（振込手数料）
予備費	3,006,816	0	3,006,816	
計	4,976,816	1,398,953	3,577,863	

収入決算額－支出決算額＝繰越額

4,976,898－1,398,953＝3,577,945

## 卒業生・修了生と学長との懇談会（第9回）の開催

平成28年8月6日（土）、岩手県一関市内のベリーノホテル一関を会場に「卒業生・修了生と学長との懇談会（第9回）」が開催されました。この懇談会は、平成20年度から毎年実施されており、今回は70名の参加がありました。

懇談会では、まず岩渕学長から、岩手大学が目指している三つの項目として「地域の視点とグローバルな視点を持ったグローバルな大学」「震災復興への取組の継続」「岩手大学のアイデンティティ」を述べられ、最近の卒業生・修了生の活躍や中国で行った留学生OB・OGとの懇談会を例に挙げ「岩手大学のアイデンティティを涵養するためにも、卒業生との繋がりを大事にしていきたい」との挨拶がありました。

また、渡邊同窓会連合会長から、同窓会連合の設立した経緯について説明があり、「設立趣旨である会員相互の親睦を深めながら大学の発展に寄与すること、地域社会への貢献を目標に今後も同窓会連合の活動を進めていきたい」と挨拶がありました。

続いて、小川理事（総務・企画・評価担当）から、学部・大学院改組や主な取組状況について説明があり、各学部長からは各学部の改組について詳細な説明がありました。

その後の質疑応答・意見交換では、今回の学部改組に関連し、ILC誘致との関わりや人材育成のあり方などの質問があったほか、今までに無い研究で世界のトップを目指して欲しいとの要望もあり、参加者の母校への関心の高さを窺い知ることができました。

懇談会の最後には、各同窓会長から挨拶があり、最近の活動についての報告などがありました。

懇談会終了後に行われた懇親交流会では、学部年代に関わらず親睦を深め合い、最後は参加者全員で学生歌を歌い、盛会のうちに終了しました。

次の開催日、会場については決まり次第ホームページ (<http://alumni.iwate-u.ac.jp/>) でお知らせします。



懇談会の様子①



懇談会の様子②



懇親交流会の様子①



懇親交流会の様子②

## ガンダイニングへの協賛について

岩手大学同窓会連合では、岩手大学の様々な活動やあまり知られていない魅力を卒業生や地域の皆様を知ってもらい、より親しまれる大学になれるよう岩手大学を応援するために、岩大を紹介するテレビ番組「ガンダイニング」の協賛を行っています。

この番組は、大学内の様々な取組や研究、学生の姿を紹介する番組で、今年で第12回を数えます。アシスタントナビゲーターを務めるお馴染みの岩手大学イメージキャラクター「がんちゃん」をはじめ、現役の岩手大学生がリポーターを務め、大学の“いま”を元気に伝えています。



リポーターの西川さん(左)と木村さん(右)

### 【平成28年度放送日程】

●IBC岩手放送 ●平成28年10月4日～12月27日 ●毎週火曜日 18:55～ ●計13回

※今年度放送した分については、以下のページからご覧いただけます。

■岩手大学ホームページ <http://www.iwate-u.ac.jp/koho/gandaining.shtml>

■岩手大学公式Youtubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwk1aOA>



## 七友会

人文社会科学部 同窓会

Shichiyukai

## 《活動報告》

今年度も現役学生に対する就職活動支援、同窓会会報『七友会だより』の発行、評議会の開催と活動を進めてまいりました。それに加え、七友会設立35周年記念同窓会を、9月24日にアルカディア市ヶ谷（東京）にて開催いたしました。参加は25名ということで、大規模であったとはいえませんが、お互いに旧交を温める格好の機会となりました。こうした機会が、学部創設40周年や同窓会設立40周年のそれぞれの記念事業に、発展的につながっていくことを、大いに期待したいところです。



## ◆就職活動支援

人文社会科学部の学部生を対象として、平成28年2月（第6回）と6月（第7回）に、「進路選択セミナー」が七友会・人文社会科学部就職委員会の共催により行われました。第6回講師はベンチャーキャピタルと広告代理店の同窓生が、第7回講師

は製薬会社とシステム開発会社の同窓生がつとめました。いずれの回も50名を超える学生が参加し、業界動向やワークライフバランスなども含め、先輩からのメッセージを真剣に受け止めたことと思います。またセミナーでは、講師に加えアドバイザーとして参加した同窓生が、学生との質疑応答やフリートークに対応しました。

## ◆会員への情報提供

同窓会会誌『七友会だより』を2回、[第42号（3月）、第43号（9月）]発行しました。またインターネット上での情報提供手段として七友会の公式web「七友会.net」（<http://www.shichiyukai.net/>）、七友会関東支部web（<http://www.jinsya.com/>）が運営されています。岩手大学や同窓会のニュース、イベントの告知をはじめとして、同窓会に関する情報を提供しており、『七友会だより』も過去にさかのぼって閲覧することができます。また会員の住所等、登録データの更新届けの受け付けも行っています。

## ◆評議会の開催

平成28年度の評議会は、いわて県民情報交流センター（アイーナ）701会議室において、6月25日（土）に開催されました。19名が出席し、事業の報告と計画、決算と予算、といった案件について決定がなされました。また2017年の学部創設40周年の記念事業に対する対応は、学部側の計画をふまえて検討することとしました。

## 一祐会

理工学部 同窓会

Ichiyukai

## ●学生支援事業の実施

就職活動支援としての「岩手県内企業説明懇談会」を平成27年4月、5月、6月、7月、10月、11月、平成28年1月の7回に亘り共催しました。今後も、一祐会学生支援事業の一環として共催していく予定です。また、工学部学生を中心とした「鳥人間コンテスト（読売テレビ放送(株)主催）」出場登録決定を受けて、活動支援の助成を行いました。

## ●岩手大学内教職員（一祐会員）懇談会の実施

平成28年1月8日（金）18:00～工学部生協2Fにおいて10名の参加。年一度の開催という貴重な機会です。次回の学内懇談会には多数のご参加をお願いする次第です。

## ●会誌「北杜」64号の発行

平成28年3月1日会誌「北杜」16,800部発行。表紙は岩手山を背景に、22年ぶりに塗り替え工事を終えた開運橋です。会長はじめ、学長、工学部長のご寄稿にはいずれも岩手大学改組についての話題が盛り込まれています。詳しくは、「北杜」64号をご覧ください。

## ●平成28年度一祐会定期総会の開催

平成28年度一祐会定期総会は、平成28年5月21日（土）14:00-16:00、理工学部一祐会館大会議室において開催しました。総会に先立つ講演会では、「岩手大学の

目指すもの」と題した、岩淵明学長のご講演があり、今後の岩手大学理工学部並びに一祐会の責務について改めて考える機会となりました。

総会（写真1）は、議長に堀江皓副会長を、書記に工藤健一常任理事と晴山渉常任理事の2名を選出し議案の審議に入りました。定例の議題に加え、「議案（5）平成28、29年度一祐会役員の選任（案）について」が了承され、堀江皓会長、平塚貞人事務局長他の新役員が選任されました。また、「議案（7）会員名簿の発行（冊子体）について（案）」の了承により、かねてより懸案であった会員名簿については、発行を前提とした検討を進めることとなりました。

また、懇親会（写真2）は、岩淵明学長、船崎健一理工学部長をはじめとするご来賓の諸先生を含めた総勢52名の参加により、盛大に執り行われたことをご報告いたします。



平成28年度総会（写真1）



懇親会（写真2）

# 北桐会

教育学部 同窓会

Hokutoukai

平成 28 年度の北桐会は、6 月 25 日に評議員会を開催し、年度計画が承認され、常任理事会を中心に会務を進めて参りました。8 月 6 日に一関市で開催された「岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会」には、北桐会の会員の多くの皆様にもご出席いただきました。皆様に御礼申し上げます。また、常任理事会の新しいメンバーには、今年度教育学部に着任された溝口昭彦先生（美術教育科）と久坂哲也先生（理科教育科）の 2 名が加わりました。

今年度、岩手大学教育学部は全国的な大学改革に伴う改組によって、学校教育教員養成課程に小学校教育、中学校教育、理数教育、特別支援教育の 4 つを含む 1 課程 4 コース制（定員 160 名）となりました。複数免許取得を卒業要件として義務づけ、地域の教育ニーズに応え、教育の理論と実践力を兼ね備えた教員の養成に力を入れています。特に、理数教育コースでは理科、数学に強い教員を養成するため「理数科クロスカリキュラム論」や「理数教材開発研究」、「ICT を活用した理数教育」といった教科の枠を越え、相互の教員が連携して行う授業も展開されていきます。

また、既存の教育学研究科（学校教育実践専攻、教科教育専攻）を改組（二専攻を廃止）し、学校マネジメント力開発、授業力開発、子ども支援力開発、特別支援教育力開発の 4 プログラムからなる教職実践専攻（教職大学院）が設置されました。これからの学校教育をリードする専門的力を備えた管理職及びミドルリーダー教員、新しい学校づくりの有力な担い手となる新任教員を養成することを目的としています。

しかし、これら大きな変化は、今後の岩手の教育に明るい未来を期待する一方、北桐会には大きな課題を残しました。学部定員が従前の 250 名から 160 名と 90 名も減少したことにより、会費収入も大幅に減少し、活動内容の見直しが必要となりました。6 月の評議員会において、(1) 同窓会の各事業は、事業内容と運営費の見直しも行いながら原則として継続する、(2) 各年度の一般会計の歳出超過分については、当面、特別会計からの補填によって対応する、の基本方針が審議、承認されましたが、今後も黒川会長を中心に事業内容の見直しと予算節約に向けた検討を重ねていくことが求められます。会員の皆様のご支援とご協力が一層必要となりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

最後になりますが、本年も北桐 56 号を発行し、会員の皆様にお届けいたしますので、あわせてご覧いただければ幸いです。



北桐会評議員会並びに常任理事新役員歓迎会

# 北水会

農学部 同窓会

Hokusuikai

## 《この一年トピックス》

### ●進藤金日子氏（農業土木学科 昭和 61 年卒）

#### 熱い志を抱き国政参加

昨年 7 月に実施された参議院選挙に北水会員である進藤金日子氏が全国区から立候補し、見事当選されました。北水会から久しぶりの国会議員が誕生しました。

氏は昭和 61 年に農学部農業土木学科を卒業後ただちに農水省に入省、土地改良を中心に本省、各農政局事務所、在チリ日本国大使館などに勤務、農水省中山間地域振興課長を最後に退任し、51 歳という若さながら国政参加となったものです。食糧安全保障、TPP 問題など日本農業・農村を取り巻く諸課題は山積しており、これまで培ってきた行政経験と農業・農村に対する熱い思い、何事にも誠実・真摯に立ち向かう人柄を生かし、果敢に国政参加されることが期待されます。

### ●宮澤賢治生誕 120 周年と賢治ペルシャ語訳詩集

昨年は宮澤賢治が生誕して 120 年の記念の年でした。各地で生誕 120 周年を記念した行事がおこなわれましたが、8 月末花巻市で開催された「国際研究大会」に招聘されたイランのアスイエ・サベル女史が、北水会を訪ねてくれました。

サベル女史はテヘラン大学に学び、卒後同大で教員として日本文学の研究を重ねられ、特に宮澤賢治研究に没頭されたとのこと。昨年春、これまでの宮澤賢治研究の一つの成果としてペル

シャ語訳詩集を出版されました。この訳詩集の出版を久道篤志氏（林学院 昭和 53 年卒）を通じて紹介され、同時に北水会に寄贈いただきました。そして花巻市での行事の折、是非北水会を訪問したいとの思いが実現したものです。

農学部植物園周辺を見て回られ、小岩井農場、鞍掛山にも足を延ばしました。正に「宮澤賢治の世界」を空・風から肌で感じる事が出来た、と感激されておられました。翌日、童話「風の又三郎」の舞台といわれる「種山が原」を案内しました。種山が原はあいくの雨模様。夏の終わりの冷たい霧雨に煙る高原の風景に、自国のイランでは経験することの出来ない、まさに「宮澤賢治」そのものを感じる、ここで感じた経験が今後の「研究に生かされる」と強く言っていました。

8 月発行の「北水会報第 131 号」は「宮澤賢治生誕 120 年記念号」として特集しました。



アスイエ・サベル女史

## 卒業生 高橋英輝さんが リオデジャネイロ オリンピックに出場

日本時間8月13日午前2時30分より行われたリオデジャネイロオリンピック男子競歩20kmに、本学教育学部卒業生の高橋英輝さんが出場しました。

結果は42位(タイム1時間24分59秒)でしたが、本学卒業生初の夏季五輪出場という偉業を遂げ、大きな夢を与えてくれました。4年後の東京オリンピックでのご活躍を、心より応援しています!



陸上部からの応援メッセージを持つ高橋英輝さん

## 競技舞踏部 館・佐々木ペアが全国制覇!

第54回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会(大阪・なみはやドーム:7月3日開催)において、本学競技舞踏部の館紳也さん(工学部4年)、佐々木彩乃さん(教育学部4年)ペアがラテン個人総合の部で総合優勝を果たし、学生日本一に輝きました。

大会には各地区予選を勝ち抜いた約150組のペアが参加し、サンバ・チャチャ・ルンバ・バソドブレの4種目で競い合います。本学ペアは、4種目全てで1位となる快挙を成し遂げました。今大会の優勝を受け、10月9日には台北で開催された世界大会に招待され、ラテン・大学の部3位と素晴らしい結果を残しました。



競技中の館紳也さん(奥)と佐々木彩乃さん(手前)

## 岩手大学 イーハトーヴ基金のご案内

岩手大学は、多くの皆様からご協力いただいた「岩手大学学生支援基金」「岩手大学被災学生支援募金」等を引き継ぎ、「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、用途を特定した「特定基金」で構成されます。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、お手数ですが、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

**【岩手大学イーハトーヴ基金ホームページ】**  
<http://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

●お問い合わせ先  
岩手大学総務部総務広報課  
(平日:午前9時~午後5時)  
〒020-8550  
盛岡市上田3-18-8  
TEL.019-621-6006  
FAX.019-621-6014



岩手大学  
イーハトーヴ基金

## 岩手大学 公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学公式Facebook、YouTube、岩渕学長Twitterを更新中!岩手大学のニュース・イベント情報、ガンダイニングの動画や岩渕学長が日々の出来事をお知らせしています。ぜひ覗いてみてください。



◆岩手大学公式Facebook  
<https://www.facebook.com/iwate.u>

公式Facebook

◆岩手大学公式YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>



公式YouTube



◆岩渕学長Twitter  
[https://twitter.com/iwate\\_u\\_ai2016](https://twitter.com/iwate_u_ai2016)

岩渕学長Twitter

## 編集 後記

同窓会連合会報(第8号)をお届け致します。岩手大学では、平成28年4月から第3期中期目標・中期計画期間がスタートしました。本号では、地域を先導する大学を目指すために6年間での様々な計画を紹介しました。さらに、各同窓会の活動をはじめ、恒例となっている卒業生・修了生と学長との懇談会の様子を掲載しました。これからも岩手大学の取り組みをお伝えしますので、同窓生の皆様からのさらなるご支援、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。(H)

**岩手大学同窓会連合会報 No.8**  
2016.12 発行  
発行事務局  
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8  
TEL.019-621-6015  
FAX.019-621-6014  
E-mail:dosokai@iwate-u.ac.jp